

登録コード	E8162400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	山本 大貴	
英文授業名	Graduation Study					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	優れた英語教員になるために、教育改善に必要な研究を自主的に行うことの重要性を自覚するとともに、それを実施する際に必要となる研究倫理について理解する。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	教育改善に必要な文献を探して読解する力、教育活動の課題や成果を見極めるために必要なデータを集めて分析する力、自らの実践を振り返ったり他者に紹介したりする力を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	先行研究の検索方法、文献の読解方法、課題の設定方法、データの収集・分析・解釈の方法、論文の書き方等について指導を行います。また、適宜研究の進捗状況の報告や、成果発表を行ってもらいます。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：研究倫理 第3回：量的研究法 第4回：質的研究法 第5回：論文の構成 第6回：研究課題の検討 第7回：先行研究の読解 第8回：データ収集方法の検討 第9回：データ分析方法の検討 第10回：引用文献リストの作成方法 第11回：引用の方法・図表の作成方法 第12回：データの解釈 第13回：論文の校正 第14回：研究発表・授業アンケート実施 教育実習等の理由で欠席した場合は、後日補講を行います。							
(6)成績評価の方法	【達成目標 1 の評価】 個別面談での質問への回答（20％）… 研究倫理について理解しているか、卒業研究を通して何を学びそれを今後どのように活かすかを具体的かつ適切に考えられているかを評価する。 【達成目標 2 の評価】 卒業論文の内容（80％）… 教育改善に必要な文献を探して読解する力、教育活動の課題や成果を見極めるために必要なデータを集めて分析する力、自らの実践を振り返ったり他者に紹介したりする力を評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。							
(7)成績評価の基準	秀：主体的に研究に取り組み、学術誌に投稿可能なレベル、またはそれに近いレベルの卒業論文を執筆した。 優：主体的に研究に取り組み、優れた点が複数ある卒業論文を執筆した。 良：おおむね主体的に研究に取り組み、大きな問題は見られない卒業論文を執筆した。 可：おおむね主体的に研究に取り組み、最低限の要件を満たした卒業論文を執筆した。							
(8)事前事後学習の内容	自分の研究テーマに関連する文献の講読、テーマの設定、データの収集・分析・解釈、論文執筆、研究成果発表の準備等。							
(9)履修上の注意	4月から計画的に研究を進めていってください							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問や相談は大歓迎です。メールアドレス: yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しません。必要に応じて資料を配付します。							
【参考文献】	浦野研 他（2016）．『はじめての英語教育研究：押さえておきたいコツとポイント』研究社． 廣森友人 他（2020）．『英語教育論文執筆ガイドブック：ジャーナル掲載に向けたコツとヒント』大修館書店							